

(様式2)

処分基準 (不利益処分関係)

(変更)

|  | 担当課                 | 長寿介護課 | 検索番号    | 3-2 |
|--|---------------------|-------|---------|-----|
| 法令名  | 介護保険法               | 根拠条項  | 第77条第1項 |     |
| 不利益処分  | 指定居宅サービス事業者の指定の取消し等 |       |         |     |
| (根拠規定)   |                     |       |         |     |
| ○介護保険法 (平成9年法律第123号)<br>(指定の取消し等)  |                     |       |         |     |
| 第七十七条 都道府県知事は、次の各号のいずれかに該当する場合においては、当該指定居宅サービス事業者に係る第四十一条第一項本文の指定を取り消し、又は期間を定めてその指定の全部若しくは一部の効力を停止することができる。  |                     |       |         |     |
| 一 指定居宅サービス事業者が、第七十条第二項第四号から第五号の二まで、第十号 (第五号の三に該当する者のあるものであるときを除く。)、第十号の二 (第五号の三に該当する者のあるものであるときを除く。)、第十一号 (第五号の三に該当する者であるときを除く。) 又は第十二号 (第五号の三に該当する者であるときを除く。) のいずれかに該当するに至ったとき。                         |                     |       |         |     |
| 二 指定居宅サービス事業者が、第七十条第九項又は第十一項の規定により当該指定を行うに当たって付された条件に違反したと認められるとき。   |                     |       |         |     |
| 三 指定居宅サービス事業者が、当該指定に係る事業所の従業者の知識若しくは技能又は人員について、第七十四条第一項の都道府県の条例で定める基準又は同項の都道府県の条例で定める員数を満たすことができなくなったとき。   |                     |       |         |     |
| 四 指定居宅サービス事業者が、第七十四条第二項に規定する指定居宅サービスの事業の設備及び運営に関する基準に従って適正な指定居宅サービスの事業の運営をすることができなくなったとき。  |                     |       |         |     |
| 五 指定居宅サービス事業者が、第七十四条第六項に規定する義務に違反したと認められるとき。   |                     |       |         |     |
| 六 居宅介護サービス費の請求に関し不正があったとき。   |                     |       |         |     |
| 七 指定居宅サービス事業者が、第七十六条第一項の規定により報告又は帳簿書類の提出若しくは提示を命ぜられてこれに従わず、又は虚偽の報告をしたとき。   |                     |       |         |     |
| 八 指定居宅サービス事業者又は当該指定に係る事業所の従業者が、第七十六条第一項の規定により出頭を求められてこれに応ぜず、同項の規定による質問に対して答弁せず、若しくは虚偽の答弁をし、又は同項の規定による検査を拒み、妨げ、若しくは忌避したとき。ただし、当該指定に係る事業所の従業者がその行為をした場合において、その行為を防止するため、当該指定居宅サービス事業者が相当の注意及び監督を尽くしたときを除く。 |                     |       |         |     |
| 九 指定居宅サービス事業者が、不正の手段により第四十一条第一項本文の指定を受けたとき。  |                     |       |         |     |
| 十 前各号に掲げる場合のほか、指定居宅サービス事業者が、この法律その他国民の保健医療若しくは福祉に関する法律で政令で定めるもの又はこれらの法律に基づく命令若しくは処分に違反したとき。  |                     |       |         |     |
| 十一 前各号に掲げる場合のほか、指定居宅サービス事業者が、居宅サービス等に関し不正又は著しく不当な行為をしたとき。  |                     |       |         |     |
| 十二 指定居宅サービス事業者が法人である場合において、その役員等のうちに指定の取消し又は指定の全部若しくは一部の効力の停止をしようとするとき前五年以内に居宅サービス等に関し不正又は著しく不当な行為をした者があるとき。   |                     |       |         |     |
| 十三 指定居宅サービス事業者が法人でない事業所である場合において、その管理者が指定の   |                     |       |         |     |

取消し又は指定の全部若しくは一部の効力の停止をしようとするとき前五年以内に居宅サービス等に関し不正又は著しく不当な行為をした者であるとき。

(指定居宅サービス事業者の指定)

#### 第七十条

2 都道府県知事は、前項の申請があった場合において、次の各号（病院等により行われる居宅療養管理指導又は病院若しくは診療所により行われる訪問看護、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション若しくは短期入所療養介護に係る指定の申請にあつては、第六号の二、第六号の三、第十号の二及び第十二号を除く。）のいずれかに該当するときは、第四十一条第一項本文の指定をしてはならない。

四 申請者が、禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者であるとき。

五 申請者が、この法律その他国民の保健医療若しくは福祉に関する法律で政令で定めるものの規定により罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者であるとき。

五の二 申請者が、労働に関する法律の規定であつて政令で定めるものにより罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者であるとき。

十 申請者（特定施設入居者生活介護に係る指定の申請者を除く。）が、法人で、その役員等のうちに第四号から第六号まで又は第七号から前号までのいずれかに該当する者のあるものであるとき。

十の二 申請者（特定施設入居者生活介護に係る指定の申請者に限る。）が、法人で、その役員等のうちに第四号から第五号の三まで、第六号の二又は第七号から第九号までのいずれかに該当する者のあるものであるとき。

十一 申請者（特定施設入居者生活介護に係る指定の申請者を除く。）が、法人でない事業所で、その管理者が第四号から第六号まで又は第七号から第九号までのいずれかに該当する者であるとき。

十二 申請者（特定施設入居者生活介護に係る指定の申請者に限る。）が、法人でない事業所で、その管理者が第四号から第五号の三まで、第六号の二又は第七号から第九号までのいずれかに該当する者であるとき。

(処分基準)

○愛媛県指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例（平成24年愛媛県条例第62号）

○指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準（平成12年厚生省告示第19号）

○愛媛県指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例施行規則（平成25年愛媛県規則第11号）

○指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準（訪問通所サービス、居宅療養管理指導及び福祉用具貸与に係る部分）及び指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準の制定に伴う実施上の留意事項について（平成12年老企第36号）

○指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準（短期入所サービス及び特定施設入居者生活介護に係る部分）及び指定施設サービス等に要する費用の額の算定に関する基準の制定に伴う実施上の留意事項について（平成12年老企第40号）

(その他)

